

vol-22 「漱石」になった日

「漱石」という名前は中国の故事「漱石枕流」から。屁理屈で言い逃れるとか負け惜しみが強いか、そういう自分の頑固さをネタにペンネームにしたという感じですね。文集の巻末には読んで人が批評を書くためのページがあり、そこに書いた批評はみんなに読まれるので、面白いと一目置かれたりするわけです。



香日ゆら著 「先生と僕 ～夏目漱石を困む人々～」



熊本市動植物園ではオス3頭、メス4頭計7頭のキャピバラを飼育しています。野生のキャピバラは南アメリカの温暖な地域の水辺に生息しています。ちなみに一緒に展示しているコンゴウインコは同じ南アメリカの熱帯雨林に生息しています。

キャピバラの性別の見分け方は、鼻の上にあるモリージョといわれる卵形の突起物です。これは臭腺で、オスはモリージョが目立ちますが、メスではほとんど見られません。このモリージョを木などに擦りつけて自分の縄張りをアピールしています。野生のキャピバラは時速50キロメートルで走ることができるといわれています。また、キャピバラは前足に4本、後ろ足に3本、指の間に水かきがついていて、泳ぎも潜水も得意で、排泄も水中で行います。

わたしの推しポイントは、混合展示しているコンゴウインコの餌が落ちてこないか、真下から虎視眈々と狙っている時の顔です。なんとも言えない表情なのでぜひ見に来てください！

株式会社セルモ 特別協賛

くまもと春の植木市

熊本の春の風物詩として400年以上の歴史があり、多くの市民に親しまれている恒例のくまもと春の植木市を開催します。本市の早春の行事として知られるくまもと春の植木市で、ぜひ春の訪れを感じてください。

期間 2月1日(土)～3月11日(火)
※2月16日(日)は「熊本城マラソン2025」のため休園。

時間 午前9時半～午後4時半

場所 JR熊本駅東側 白川橋左岸緑地(泰平橋と白川橋の間)

内容 庭園樹、盆栽、鉢物、多肉植物などの販売

会場周辺駐車場のご案内

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

(ひごまるコール ☎096-334-1500)
(農水ブランド戦略室 ☎096-328-2410)

専門医に聞く医療の話

漏斗胸について

熊本市立熊本市市民病院
小児外科 部長 奥村 健児

今回は胸のへこみが特徴的な漏斗胸という病気について、診断や治療法などを専門医にうかがいました。

一 漏斗胸とはどんな病気？

胸骨という胸の真ん中にある骨を中心に、胸がへこんでいる病気です。800人に1人の割合で発生し、男性が女性の3倍多いといわれています。原因は不明で、自然に治ることはほとんどなく、一般的に年齢とともにへこみは進行していきます。

一 漏斗胸の症状は？

胸のへこみによる美容上の問題のほか、肺炎などの呼吸器の感染を繰り返したり、心電図検査で異常がみられる場合もあります。また年齢が上がると運動時の疲れやすさや胸の痛みを訴えるようになります。そのほか、いじめの対象になる場合もあり、社会的な問題も指摘されています。

一 漏斗胸の検査は？

胸のレントゲン検査に加えて、CTで胸のへこみの程度を客観的に評価し、心電図で心機能を評価します。また呼吸機能検査で肺活量を測定します。

一 漏斗胸の治療法は？

基本的には手術を行い、手術の時期としては小学校高学年ごろが推奨されています。手術方法については、以前は胸骨を裏返す手術や胸骨と肋骨の間の軟骨を切除する手術などが行われましたが、侵襲が大きいため現在ではほとんど行われていません。現在はナス手術という金属のバーを胸に埋め込んで胸の形を矯正する手術が主に行われています。この手術ができる施設は限られており、手術に進む前に専用器具で治療が行えることもありますので、専門医のいる施設へご相談ください。